

# 選手注意事項

## 1 競技について

- (1) 本競技会は、2022年度日本陸上競技連盟規則および本大会申し合わせ事項により運営する。
- (2) 招集場所は現地とする。トラック種目はスタート付近にて競技開始20分前に1組から順次行う。フィールド種目は30分前とする。係員により点呼があるので、競技者本人がナンバーカードの確認を受けること。他の種目に出場している場合は代理人でもよい。
- (3) 申し込み後の変更は、理由の如何を問わず認めない。
- (4) ナンバーカードはそのままの形でユニフォームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍種目に出場する競技者は、胸部または背部のいずれか一方でもよい。トラック競技に出場する選手は、主催者が用意する腰ナンバー標識を右腰後方に付けること。
- (5) スパイクシューズのピンの長さは全天候舗装につき9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。ピンの数は11本以内とする。
- (6) 走幅跳、三段跳の競技者においては参加すべての選手に2回の試技が与えられる。
- (7) 跳躍競技のバーの上げ方については下記の通りとする。(ただし、状況により変更することがある)

走高跳	男子	練習 1m50	1m55 1m60 1m65 1m70 1m75 1m80 1m83 以後3cm刻み
	女子	練習 1m20	1m25 1m30 1m35 1m40 1m45 1m48 以後3cm刻み
棒高跳	男子	練習 2m90 3m60 4m00	3m00 3m10 3m20 3m30 3m40 3m50 以後10cm刻み
	女子	練習 1m90 2m50 3m00	2m00 2m10 2m20 2m30 2m40 2m50 以後10cm刻み

※棒高跳の練習はゴムバーを使用

※三段跳の踏切板は、砂場まで男子11m、女子9mとする

- (8) フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側（走高跳では助走路内）に2カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1つだけ置くことができる。そのマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置く。マーカーは、現地で審判員が渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。
- (9) 競技用具については棒高跳用ポールを除き、競技場備付のものを使用する。
- (10) 助力について・・・スタンドからの助言は、競技運営並びに他の競技者の妨げにならない範囲で認めるものとする。ビデオ等による助言は認めるが、その際、吊り下げや手渡し、競技者が視聴の為に勝手に当該競技エリアから離脱することや文章連絡は認められない。また、ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を、競技区域内で所持または使用することはできない。

## 2 その他

- (1) 参加校は定められた人数の補助員を出すこと。また、1名以上の顧問を役員として協力すること。
- (2) 参加校は当日の準備・片付けに協力すること。ゴミは各校で持ち帰ること。
- (3) 大会中のけがについては各自で対処すること。
- (4) 各校補助員は、8：30に集合場所（本部前グラウンド）に集まり、補助員係の指示を受けること。
- (5) 人の呼び出しや各校の個別の用件のための「放送施設」の使用は行わない。ただし、重要かつ緊急を要することについてはこの限りではない。
- (6) 写真・ビデオなどの撮影については各学校でビブス等の準備をし、着用すること。
- (7) 競技に支障のあるような応援はしないこと。メインスタンド最前列に立っての応援は禁止する。  
感染防止のため集団応援は禁止とする。

### (8) 新型コロナウイルスに対する大会参加に際する留意点について

- ・ 新型コロナウイルスの感染状況によっては、突然の大会の中止の可能性がある。

#### 【大会当日】

- ・ 当日の体温が37.5℃を超える場合の観戦は控えること。
- ・ 大会前日と当日の2日間連続で体温が37.5℃を超える選手は参加できない。
- ・ 大会当日朝に初めて体温が37.5℃を超えた場合、大会への参加を見送ること。
- ・ 密閉空間、密集、近距離での会話や発声、以上3つを回避するよう各個人・各校で徹底すること。
- ・ 各自の責任で、手洗い、うがい、マスク着用を励行すること。
- ・ 器具を触った手で口や目に触らず、競技終了後入念な手洗いをする。

#### 【大会後】

- ・ 大会終了後2週間以内に感染が確認された場合、直ちに主催者に報告すること。